

塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」

主催 一般社団法人 色材協会 関東支部

協賛 (予定) 日本塗料工業会, 関東塗料工業組合, 東京塗料商業協同組合, 日本塗料検査協会, 日本化学会, 自動車技術会, 化学工学会, 日本塗装技術協会, 腐食防食学会, 有機合成化学協会

塗料講演会は塗料業界の技術向上と発展を目的として、年1回5月に開催しております。今回は技術革新の著しい「自動車用途」に焦点を当て、最先端で活躍されている先生方にご講演いただきます。近年自動車ボディ用の塗料開発は「水性化」、「省工程」を経て、次の段階に入っていると言えます。自動車がCASE, MaaSに進むとされている中「意匠はどうあるべきか」、「エネルギー負荷の高い塗装工程をどうするか」、「素材の軽量化・マルチマテリアル化にいかに対応するか」、「塗装はほかの技術に置き換えられるのか」が議論されています。本会では、技術者の方ももちろん、塗料・塗装の将来に興味のある方すべてに有用な情報が得られるものと確信しております。多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

日時 5月17日(金) 9:40～16:40

会場 東京大学 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 An棟2階 コンベンションホール
[東京都目黒区駒場4-6-1]

小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅より徒歩15分。小田急線/東北沢駅から徒歩10分。
京王井の頭線/駒場東大前駅西口から徒歩15分。京王井の頭線/池ノ上駅から徒歩15分。

受講料 会員20,000円, 会員外33,000円(テキスト代, 消費税込)(協賛学協会員は会員扱いとします)
*テキストは事前にご送付いたします。

申込締切日 定員(100名)になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。
テキスト送付の都合上、5月7日(火)までにお申し込みください。

申込方法 色材協会ホームページ(<https://shikizai.org/>)の申込フォームからお申し込みいただくか、申込書に
所定事項を明記の上、Eメールにてお送りください。

受講料は①郵便振替②銀行振込のいずれかで講座前日までにお振込みください。

(郵便振替口座:00120-7-76423 銀行口座:三菱UFJ銀行恵比寿支店 普通預金No.1547898(社)色材協会)

申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号室

(社)色材協会 TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp

参加ポリシー ・受講者は、講座内容の撮影、動画・音声の録画・録音を禁止いたします。

・上記条件を理解・同意した上でお申し込みください。

塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」申込書

2024年 月 日

受付 No. _____

氏名 _____

所属学協会名 _____

会員番号 _____

勤務先 _____

所属部課名 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

E-mail: _____

※適宜☑を付けてください。

受講料 会員 ¥20,000
 会員外 ¥33,000

払込方法 (お申込み書到着後、請求書を送付いたします)

郵便振替 (月 日払込予定)

銀行振込 (月 日払込予定)

今後開催される色材協会主催の講座についてE-mailでの案内を希望しますか。(希望する ・ 希望しない)

※申込書に記入いただいた個人情報 は色材協会事務局にて厳重に管理いたします。

塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」

— 演 題 と 講 師 —

9:40 ~ 9:45 【オープニング】

9:45 ~ 10:45 1) 自動車塗料の質感測定・調色とDX

(株)オフィス・カラーサイエンス 大住雅之

自動車外装塗色を中心に、DX化のニーズ、DX化を実現する要素を考察した。質感に関係する要素を計測可能な測定装置を応用し、色彩と質感の両者のシミュレーションとマッチング技術、およびCGへの展開について、塗色開発、塗料製造、塗装QC管理、自動車補修といった分野での実例を述べる。

11:00 ~ 12:00 2) 塗装ロボットシステムの最新技術動向

ABB(株) 多和田孝達

環境負荷低減のためカーボンニュートラルへの対応が世界的に行われている。塗装による負荷低減のため、高塗着効率化およびノンオーバースプレーを目指す当社の塗装機の最新の技術動向に関して紹介する。

13:00 ~ 14:00 3) 自動車モノづくりの将来とカーボンニュートラルの取り組みについて

トヨタ自動車(株) 村田 亘

カーボンニュートラルが必達の自動車産業の中で、電動車、とりわけBEVへのシフトが急速に進められている。クルマの未来を変えていく最新のモノづくりと、自動車塗装の果たすべき役割について紹介する。

14:15 ~ 15:15 4) 銀鏡塗装の開発及び生産性向上

カワサキモーターズ(株) 中川文寛

2014年にNinjaH2/H2Rというプレミアムモデルで採用する塗色に真の金属感を追求し、モーターサイクルの塗膜性能および外観要件を満たす銀鏡塗装を開発し量産化した。本講演では銀鏡塗装の開発から量産化までの取り組み内容を紹介する。

15:30 ~ 16:30 5) 自動車補修用塗料の最新動向

大日本塗料(株) 玉野良輔

近年、塗料業界では社会的なSDGsやカーボンニュートラルなどの取り組みや、法改正にともない、環境に配慮した製品の需要がいっそう高まっております。自動車補修業界も転換期を迎えようとしている中での自動車補修用塗料の最新動向と課題、将来性について。

16:30 ~ 16:40 【アンケート記入・閉会挨拶】